

令和元年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	市政結和
議員名	我妻静夫・金濱元一・岡田健一・早川昇三・南川達彦・鈴木和彦
調査実施年月日	令和元年度7月4日
調査先 自治体名等	佐賀県 唐津市
調査項目	唐津市未来づくり研究会について
調査目的	若手職員の政策立案能力の向上と研究活動等の取り組みについて
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口：121,890人 50,688世帯（平成31年4月1日現在） 高齢化率：31.2% 19歳以下人口22,619人(平成31年4月1日現在) 行政面積：487.60km²</p> <p>2 視察内容 (1)事業の目的 唐津市は、市の持続可能な発展のため、職員の意識改革や政策立案能力の向上と組織の横断的な連携を図ることを目的として、職員有志による研究会を設置。(平成29年度から実施)原則として40歳までの若手職員を対象として、①職員の硬直化した発送及び立案過程からの脱却。②自由闊達な意見を述べる事が可能な組織風土の醸成。③横断的な連携を図る組織機構の達成。④その他職員の柔軟な課題対処能力養成。を目的に事業として取り組んでいる。</p> <p>(2)事業を行なうに至った経緯と背景 市長が平成29年度に職員の意識改革を狙って発案した事業で、希望者を募り、新規採用職員と女性3人を含む40歳未満の若手職員16人で構成する「未来づくり研究会」を立ち上げた。人口減少などの課題を所属にかかわらず共同調査し、施策を立案、市長に報告書を提出することが事業を行なう経緯と背景のきっかけとなった。また、市長は、任命式で「若く柔軟な発想で新しい唐津を求める市民の期待に応えてほしい」とし、提案された施策の事業化や若手の意見を機構改革の参考にすることとしている。</p> <p>(3)「未来づくり研究会」の詳細</p> <p>●活動の内容 40歳未満の職員を対象に、①政策課題、②事務改善、③自由課題をベースに研究活動やワーキンググループなどを結成し課題解決や改善活動を行なう。(時間外、研究活動の費用は政策部で負担)</p> <p>●事業実施の流れ 5月(職員の公募と任命)⇒6月(研究スタート)⇒6月～11月(視察研究・専門家等から助言アドバイザーを招聘)⇒12月(予算に提案可)</p>

報告内容
実施したこと

能か審議) ⇒ 3月(報告書提出) ⇒ 翌年5月(発表会の開催)

●職員の参加状況

平成29年度16名(女性2名)、平成30年度22名(女性5名・継続6名)、令和元年度22名(女性3名・継続3名)

●平成29・30年度の研究テーマ

《平成29年度》

- ① 市民ファーストの高みへ働き方改革と意識改革への挑戦
- ② コンビニエンスストアにおける各種証明書交付サービスの導入検討
- ③ 人材とイノベーションを掘り起こす企画
- ④ 行政評価の「見える化」
- ⑤ 高校生の地元就職率向上に向けた取り組み提案

《平成30年度》

- ① 住民税の勉強会で市民福祉課をレベルアップしたい
- ② 旧唐津発電所跡地でロックフェスを毎月開催したらこの街はどうなるか
- ③ 唐津市民遣唐使化計画
- ④ 地域資源を活かした賑わいのまちづくり ～中心市街地編～
- ⑤ 地域資源を活かした賑わいのまちづくり ～呼子編～
- ⑥ 交流による移住・定住の促進を目指す(平成29年度働き方改革の継続事業)
- ⑦ イノベーションを集める「ベンチャーサポーター制度」の提案

●平成30年度研究テーマの詳細説明

平成30年度実施の7テーマについて資料で説明を行なった後、「旧唐津発電所跡地でロックフェスを毎月開催したらこの街はどうなるか」のテーマについて、実際の発表をビデオ視聴。

(4) 平成30年度研究成果発表後の管理職からのアンケート結果

研究発表後に管理職からのアンケート結果として、「総合評価」、「政策具現化可能性指標」、「プレゼン評価」の3段階で研究発表の評価を行ない政策転換が可能か検証を行なう。

(5) 職員の業績評価

人事課が行なっている人事評価において、本来の日常の業務に加えて、「未来づくり研究会」への参加についても人事評価の対象としている。評価方法は、期首に自己による達成目標を立て、期末に達成度について分析し、それらを管理職が評価し、人事課へ評価書として提出している。

(6) 職員の意識の変化

「茶ッカソン」=茶+ハッカソン(お茶を飲みながら、世の中をちょっとよくするアイデアについて議論する「現代版茶会」)の実施により参加者の意識改革が見られた。また、九州大学との連携やUX(ユーザーエク

<p>報告内容 実施したこと</p>	<p>スペリエンス)活用などを検討。 (7) 取り組みの課題・今後の事業展開 課題としては、実際に政策へ取り込めるかクリアにしていく必要がある。 また、今後の事業展開は、政策について具現化を行い、令和2年度に予算請求を行なう。長期的な視点での提案は、唐津創生会議で政策転換が可能か検証を行なう。</p>
<p>感想(まとめ) 本市へ生かせること 等</p>	<p>唐津市未来づくり研究会は、職員の意識改革や政策立案能力の向上と組織の横断的な連携が図れる取り組みで、職員の意識変化に繋がっている取り組みで大変参考になりました。また、研究会に参加されている職員については人事評価にも繋がっており職員の活動意欲にも繋がる取組みとなっている。本市でも若手職員等の研修などを行なっていますが、唐津市のような業務改善、意識改革、組織の横断的な連携などの取り組みは重要と思いました。</p>